

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回枚方市生涯学習推進審議会	
開 催 日 時	令和6年2月22日（木）	13時00分から 14時30分まで
開 催 場 所	市役所別館4階 第3委員会室（WEB含む）	
出 席 者	渥美公秀委員・市川まや委員・位田真由子委員・岡村富美代委員・芝田かおり委員・末岡妙子委員・田中与士彦委員・所めぐみ委員・富岡量秀委員・萩原雅也委員（途中出席1名）	
欠 席 者	—	
案 件 名	<p>(1) 会長、副会長の選出について</p> <p>(2) 審議会の運営について</p> <p>(3) 生涯学習推進基本指針進捗状況等について</p> <p>①「生涯学習施策」推進に関するアンケート</p> <p>②事務事業実績測定</p> <p>(4) 生涯学習交流センター・市駅前図書館の指定候補者の選定について</p> <p>(5) 生涯学習市民センターにおけるデジタル環境の整備について</p> <p>(6) その他</p>	
提出された資料等の名	資料1	委員名簿
	資料2	枚方市生涯学習推進審議会に係る関係例規
	資料3	審議会の傍聴に関する取り扱い要領（案）
	資料4-1	生涯学習推進基本指針進捗状況
	資料4-2	主な事務事業・所管課一覧表
	資料4-3	生涯学習推進基本指針進捗状況調査表
	資料4-4	令和4年度 生涯学習事業報告
	資料5-1	生涯学習交流センター・市駅前図書館施設概要
	資料5-2	生涯学習交流センター・市駅前図書館の指定候補者の選定について
	資料6	生涯学習市民センターにおけるデジタル環境の整備について
	参考資料1	枚方市生涯学習推進基本指針
	参考資料2	「生涯学習施策」推進に関するアンケート
決 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会の会長及び副会長を選任した。</li> <li>・ 本審議会における会議録・傍聴の取り扱いについて決定した。</li> <li>・ 生涯学習推進基本指針進捗状況（令和4年度実施）について確認を行った。</li> <li>・ 生涯学習交流センター・市駅前図書館の指定候補者の選定について報告を行った。</li> <li>・ 生涯学習市民センターにおけるデジタル環境の整備について報告を行った。</li> </ul>	

会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署 (事務局)	観光にぎわい部 文化生涯学習課

事務局	<p>&lt; 1 開会 &gt;</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、令和5年度第1回枚方市生涯学習推進審議会を始めさせていただきます。本日は、お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は事務局を担当させていただきます、文化生涯学習課長の奥村でございます。本日は、新たな任期での初めての審議会となりますことから、会長と副会長を選出いただくまでの間、事務局で会議を進行させていただきます。</p> <p>また、本審議会につきましては、会議録作成にあたりまして、会議内容を録音させていただいております。ご了承いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、観光にぎわい部長の富田よりご挨拶申し上げます。</p>
富田部長	<p>(部長挨拶)</p>
事務局	<p>&lt; 2 委嘱状交付・委員紹介 &gt;</p> <p>それでは、審議会の委員として、お集まりいただいた皆様をご紹介します。なお、本日2名の委員にはWEBでのご出席をいただいております。</p> <p>(渥美委員から順に紹介)</p> <p>以上、10名の委員の皆様でご審議いただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>また、資料1として委員名簿を添付しておりますので、後ほどご確認ください。なお、本日は委員10名中9名ご出席いただいておりますので、枚方市附属機関条例第5条第3項に規定する「2分の1以上が出席」を満たしており、この審議会が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>(事務局職員を順に紹介)</p>
事務局	<p>&lt; 3 案件(1) &gt;</p> <p>それでは&lt;案件(1) 審議会の会長及び副会長の選任&gt;をお願いしたいと思います。この審議会の設置根拠となります枚方市附属機関条例では、第4条第1項において、「会長及び副会長を置く」と定めております。また、その選任につきましては、同条第2項で委員の互選によるとされています。</p> <p>事務局といたしましては、本審議会の前会長をお務めいただいた渥美委員に引き続き会長を、また、前副会長をお務めいただいた富岡委員に副会長をお願いしてはどうかと考えておりますが、委員の皆様、いかがでございましょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>ご賛同いただきましたので、渥美委員を会長に、富岡委員を副会長にお願いさせていただきますと存じます。</p> <p>それでは、会長にご就任いただきました渥美会長より、一言ご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
渥美会長	<p>(渥美会長挨拶)</p>

事務局	続きまして、富岡副会長よりご挨拶をお願いいたします。
富岡副会長	(富岡副会長挨拶)
事務局	ここからの進行は、渥美会長にお願いしたいと思います。
渥美会長	それでは、<案件(2) 審議会の運営について>を議題とします。事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2「枚方市生涯学習推進審議会に係る関係例規」 資料3「枚方市生涯学習推進審議会の傍聴に関する取扱い要領(案)」 に基づき説明
渥美会長	事務局から、会議の公開、議事録、傍聴手順について説明がありましたが、何かご意見などございますでしょうか。  (特になし)
渥美会長	特にございませぬようですので、本審議会の会議を公開し、会議録を要点筆記で公表するものといたします。また、傍聴に関する手順についても、事務局案のとおりとさせていただきます。 本日、傍聴者はいないようですので、引き続き会議を続けます。
渥美会長	それでは、<案件(3) 生涯学習推進基本指針の進捗状況等について>を議題とします。これについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料4-1「生涯学習推進基本指針進捗状況」 資料4-2「主な事務事業・所管課一覧表」 資料4-3「生涯学習推進基本指針進捗状況調査表」 資料4-4「令和4年度生涯学習事業報告」 に基づき説明。
渥美会長	この説明につきまして、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
末岡委員	かつて公民館をよく利用していました。基本指針に「一人一人が生涯を通じて学び続けることが生きがいの一つとなり」とあります。一番学んでほしいと思う人が来ない、興味を示さない、何もしなくても学ぶ人は学ぶが、学ぶべき人が学ばないのが課題だと思っています。公民館の頃は自分たちで事業を組み立てて、自分たちの好きな活動をしていました。進捗状況にあげられたものを見ますと、作られたものにどうぞ参加してくださいとなっています。果たしてどちらが学びにつながるのか。 支援を必要としていたり、学校に来なかったり、ネットでの学びを行っているふりをしていたりする子どもたちが増えている。大人でも支援が必要と思われる人たちがいて、そういった人にこそ生涯学習が必要なのではないかと考えています。それが、枚方市の生涯学習の仕組みの中でできているのか。 学ぶ人たちを大事にする枚方市としてやってきているので、素晴らしいと思っていますが、漏れていっている子どもたち、大人たちがあまりにも多いので

<p>渥美会長</p>	<p>はないかと心配しています。要らない心配でしょうか、生涯学習という枠から外れるものなののでしょうか。そこを知りたいです。</p> <p>大事な点をついていただきました。既に作られた枠ばかりでいいのかどうか。学んでほしいターゲットに本当に届いているのか。インクルージョンという面からしても全ての人が含まれているか。それぞれ大事な点だったと思いますが、ひとつひとつがここまでできていますと答えるのは難しいと思いますが、事務局としての展望、全体への指針をお持ちでしたらお答えいただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回の審議会でもご指摘いただきましたが、利用されている人だけでなく、利用していない人の意見ももらえるようにということで、ホームページから答えることができるようにしていますが、これからも情報発信をしていかなければならないということと、身近な地域でやっていくということ、こういったことにこれからも力を入れていくべきと認識しています。</p>
<p>岡村委員</p>	<p>公民館時代からこれまで、さだで活動委員会や子育てをしてきました。さだに子どもを連れていくと、職員が声をかけてくれたり、施設の利用者から声をかけてもらったりしてきました。社会教育の中の公民館から施策が変わり、生涯学習市民センターになりました。利用している人がガラッと変わりました。公民館時代は学校帰りの子どもたちがランドセルを背負ったまま来ても、職員が「おかえり」と声をかけたりして、みんなで温かく利用者が子どもを見守っていました。生涯学習市民センターになって指定管理者になると、法律の違いもあって、内容が社会教育とはズレているのは確かです。今、活動委員会をしていますが、事業を企画すると、来てもらいたい人に来てもらえないというのは事実です。活動委員会として、そういった人たちにどこまで声をかけることができるのか力不足も感じます。社会福祉的なセイフティネットがあれば、その人たちが声をかけてくれればいいのですが、活動委員会の私たちには、自宅にいる困っている人たちを引っ張ってくることはできません。どんな事業をしたらいいのかというのを聞いても、なかなか焦点が当たらないのは確かです。各生涯学習市民センターの中で救えるかという現状では無理なことです。SDGs の中の「誰一人取り残さない」ということを実施できるセイフティネットを作る必要があると思いますが、それを全部生涯学習市民センターだけで、いろんなことを提供するという力はありません。公民館と生涯学習市民センターの違い、それから、枚方市には児童館がない、ということは大きな問題だとは思いますが。</p>
<p>市川委員</p>	<p>公民館と生涯学習市民センターでは、何が一番変わったのでしょうか。</p>
<p>岡村委員</p>	<p>公民館は社会教育という中で守られますが、生涯学習市民センターは地方自治法に則っているので営利企業が入ってきてもよいということです。指定管理者制度が一番大きい。</p>
<p>事務局</p>	<p>枚方市は市内に9か所も生涯学習市民センターがありますが、それだけあるのは北河内では枚方市だけですし、全国でも数えるほどしかないと思います。センターは地域における子どもたちの駆け込み寺のような要素も持っており、いじめで悩んでいる子、家に帰っても誰もいなくて寂しい思いをしている子どもの受け皿と言いますか、いつでもロビーを活用いただいて、子どもは無料で部屋を借りることができますので、そういう環境にしています。センターの料理室を使って子ども食堂をさせていただいたり、市民のボランティア団体にもセ</p>

	<p>ンターを活用していただいたりしています。センターの在り方自体は、岡村委員の言われたように、指定管理者になって企業が運営しているということはありませんが、事業報告でもありました無料や安いイベントをしていくなかで、どんどん参加していただきたい。アウトリーチや音楽などの文化芸術事業のなかで、家庭間の格差関係なく、子どもたちに触れてもらえるような環境づくりは市としてやっている状況ではあります。末岡委員がおっしゃるように、まだまだ足りない部分はあると思いますが、地域のみなさまも巻き込みながら、進めていかなければならないと思っています。</p>
末岡委員	<p>生涯学習市民センターになってから冷たさを感じています。有料というの大きな問題。財政上の問題で制度を変えたこともわかっています。居場所の紹介がありましたが、居場所というのはその役割があり、その人たちとの交流がありということです。単なる部屋貸し業では居場所にならないと思います。</p>
事務局	<p>利用者アンケートの満足度としては上がっているのですが、長年ご利用いただいた方については切り替わったことでご不満があるというのは認識しています。利用していただきやすい環境づくりというのは単なる接遇だけの問題ではないと思っていますので、指定管理者にもモニタリングなどを通じて随時指導していきながら進めてまいりたいと思います。</p>
岡村委員	<p>アンケートについて、センターが複数ありますが、センターの違いというのがありますか。指定管理者が違くと違いも出てくるのでは。指定管理者がやっている事業も違う。よく言えば特色、悪く言えば格差みたいなものが出てきているということはないでしょうか。</p>
事務局	<p>各センターでの分析までしていません。各センターでも独自のアンケートを取ってしまして、指定管理者で少し内容は違うところもありますが、それほど極端に違いはないと思っています。</p>
萩原委員	<p>公民館から生涯学習市民センターに変わる前から存じ上げていたので、今日お二人の話を聞いて、市民の方はそのように思っているのだなと改めて感じました。</p> <p>進捗状況のシートのことについてですが、令和3年度、4年度の比較になっているのですが、次回の令和5年度を見るときには、令和4年度と合わせて、コロナ前との比較が必要なのではないかと。令和3年度はコロナで中止になった状況との比較になるので、これだけですと今年度の事業について、どの程度進捗しているのかというのが見づらいところがあります。ですので、コロナ前、前年度、2つとの比較が必要だというのが一点目。</p> <p>もう一点は現状維持がほとんどということで、次回取り組み方針を提示されるということですが、近年、このような進捗状況の評価については、目標値の設定があって、その目標値がどの程度進捗しているかというのを、まず事務事業で評価して、市民委員が更に評価するという形式が多いので、少なくとも取り組み方針を出されるということであれば、どの程度の目標値を置かれたのかもわかったほうが、評価もわかりやすいのではないのでしょうか。目標値についても、現状、事業内容で評価されているパフォーマンス評価で、いくらでやりました、何人参加されました、という評価なのですが、実際には参加された方の意見や結果、そのあとの活動が生まれたとか生まれてないとか、いわゆるソーシャルインパクトと言いますが、もう少し成果指標的なものが含まれた取り組み方針なり、事業評価というものがあるのではないのでしょうか。いくつかのものをピックアップしてされるというのが、次回には必要なのではないかと思</p>

	います。
渥美会長	いろいろな指標を取っていただいて、わりと量的な数値は上がってきているけれども、参加された方の感想など質的なものも含めて、量質ともに把握するような方法がいいのではないかと、というご指摘だと受け止めてよいのでしょうか。
萩原委員	そのとおりです。
芝田委員	ひとつよろしいのでしょうか。子ども食堂から年配の方の勉強まで、生涯学習の年齢層の幅が広すぎるので、どのように整理していけばよいのか難しいです。次回のアンケートは年代別でも取られたらいいのではと思いました。
渥美会長	事務局どうでしょうか。
事務局	ご意見を参考にさせていただき検討してまいります。
富岡副会長	公民館から生涯学習市民センターに変わったところ、社会のしくみが変わっていく中で失われていったものは多いかと思います。支援の必要な人には届きにくいというのはどんな場面でもあって、例えばアンケートもそうですし、母子、子育てなども、本当に必要な人というのはなかなかそこに行かない、あるいは逆に何に困っているのかに気づいていないということがあったりします。アウトリーチをやっていくときに、ソフトな部分というのは実はアナログなことが必要で、手をかけていく、人をかけていく、回数をかけていく、何に困っているのかというのは対話をしながら見つけ出していき、引き出していきというのが出てくると思うのです。枚方市だけの問題ではなくて、社会全体の問題です。デジタル化が進んでいくのですが、同時にその部分は忘れてはいけないし、それを声に出していくというのは大事と改めて感じました。
渥美会長	それでは続きまして、 <b>&lt;案件（４）生涯学習交流センター・市駅前図書館の指定候補者の選定について&gt;</b> 事務局から説明をお願いします。
事務局	<b>資料５－１</b> 「生涯学習交流センター・市駅前図書館施設概要」～ <b>資料５－２</b> 「生涯学習交流センター・市駅前図書館の指定候補者の選定について」の説明
渥美会長	事務局からの説明について、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。
末岡委員	評価内容で「乳幼児健診時に出張図書館を設けて読み聞かせ等を行うなどの利用者への細やかな気配りには説得力が感じられた」とありますが、枚方市の検診時にも今後されていくだろうということでしょうか。出張図書館を設けるということは外に出ていくという機能を持っているということで様々な場所で行われる乳幼児健診に行って下さるのなら素晴らしいなと思ったのですが。
事務局	５階の市駅前図書館から６階の母子保健担当部署で行われる乳幼児健診に向いて行っていくという提案です。
富岡副会長	乳幼児健診というのは実はいろいろなことを発見しやすい場所です。指定管理者と枚方市、専門家が少し打合せをして、もしこういうところがあったら少し気にかけていただきたい、こういうポイントを見てほしい、ということがあって気づきがあれば、ここに連絡するといういわゆる部門間の連携をする。そ

	<p>ういったところから少しずつ変えていく、拾っていけるという、ちょっとした手間ですが、こういったことが可能であれば違ってくるのかなと思いました。</p>
事務局	<p>他部署とも意見交換をしながら連携を図ってまいります。</p>
芝田委員	<p>駐車場料金は指定管理者が調整されるのでしょうか。総合文化芸術センターはかなり高くて、お子さん連れの方は困っていると聞きます。交流センターは駅前なので利用者に来てもらうためにも検討してもらえたらと思います。</p>
事務局	<p>現在のサンプラザ生涯学習市民センターと同様に、交流センターに専用駐車場はありません。庁内で検討しているところです。総合文化芸術センターの駐車場料金は、近隣駐車場との均衡ということもあり、現在の設定金額にさせていただきます。</p>
岡村委員	<p>この指定管理候補者は、枚方市の他の図書館でやってる業者でしょうか。</p>
事務局	<p>香里ヶ丘、さだ、牧野図書館の指定管理をされているところです。</p>
岡村委員	<p>この図書館の職員は人形劇フェスティバルの時に読み聞かせをしてくれています。要請すれば出てきて下さって楽しいことを子どもたちにパフォーマンスしてくれるというノウハウは持っておられると思います。なのでおそらく、幼児検診の時など、同じ建物内であったら出てきてくれるということで選ばれたのではないかと推測しましたが違いますか。</p>
事務局	<p>建物の平面図を見ていただきますと、5階と6階に市の施設がありまして、6階で母子保健サービスを行う予定になっています。図書館流通センターからご提案いただいたのは、母子保健サービスに合わせて読み聞かせを行うというものです。</p>
渥美会長	<p>交流センター・図書館施設ができるということと、指定管理候補者が決まりましたということで、具体的にこれから動いていくなかで、いろいろとご覧いただければと思います。</p> <p>それでは続きまして、<b>&lt;案件（５）生涯学習市民センターにおけるデジタル環境の整備について&gt;</b>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>資料6</b>「生涯学習市民センターにおけるデジタル環境の整備について」の説明</p>
渥美会長	<p>事務局からの説明を受け、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。</p>
末岡委員	<p>フリーWi-Fiをつなげる数はある程度限られているということはないでしょうか。若い人はフリーWi-Fiがないと話にならないということがあって、デジタル環境は本気で整えないと駄目な時代に入っていると思います。</p>
事務局	<p>通信環境として人数を超えると遅くなるということはあるかもしれませんが。担当部署にもご意見を伝えます。</p>
市川委員	<p>私の母は家にインターネットがない環境の者が集まって、Wi-Fiを使うために枚方市の施設を借りて接続しながらやりたいことを進めるということをして</p>

	<p>いるので感謝しています。</p> <p>今回の審議会資料は紙で用意してもらっていますが、量が多くて、みなさんパソコンを持っているなら、紙はなくてもいいのではと思います。紙でないとしっかり見れないとかわかりにくいとかもあるかもしれないし、どれがというのはわからないですが、そう思いました。</p> <p>もうひとつ、枚方市の LINE はどれくらい登録されているのでしょうか。届いてほしいところに届かないというのがあると同時に、知らせること、例えば、携帯電話をどんな家庭でも持っているとかインターネットがあるとは言えませんが、アクセスできる人がいるのであれば、「枚方市の LINE を登録しておいたら」というアドバイスがあったら、市民の LINE 利用率などが高くなったりすると、無料で行っているイベントなども頻繁に流れてきて、それを見てくれている人が実行に移すのはなかなか時間がかかると思いますが、まずは知ってもらうことが入口になるのではと思います。広報ひらかたは全戸配布で、見る人見ない人で分かれると思いますが、知らせることの方法を思いました。</p>
事務局	<p>ポータルサイトもまだ未完成で、どういう形になって、届けたいところに届けられるか見極めていき、検討を進めて参ります。</p>
富岡副会長	<p>参考になればと思うのですが、他の審議会でも ICT のところで問題になっているところがあり、LINE が一般的あるいは手軽なのではないかと思う世代がいる一方、LINE 登録をするために意外に情報を入れなくてはならないので嫌厭するという方向があります。手軽に情報を得たいとなったときに、実は Instagram の方が見やすいのではないとか、利用者が情報を入れなくても済むようなものの方が普及するのではないかという意見もあり、いわゆる SNS というのがどんどん手軽化していったときに、意外と LINE を使う世代と使わない世代があって、逆に使わない世代は使っている世代に合わせてしょうがなく LINE を使っているというようなこともあったりする。そのあたりの見極めがいたちごっこなところもあるのですが、そこらへんに手を付けなければならないですし、何とか届くようにという手立てのところ、固定で LINE とするのではなく、もう少し広い手立てというか視野に入れつつ、その辺の組み立ても考えていかれるのがいいのかなと思いました。</p>
芝田委員	<p>色々な情報をカレンダー化してくれると、その日に何が起きているのか、どこで何があるのか、日にちをクリックしたらわかるようになっていたらわかりやすいなと思います。色々な情報が色々な場所に拡散していて、一つにまとまっていません。色々なところを見ながら、確認していかなければならなくて、市のホームページ内のここを見れば、市のどこで何があるのか見ることができれば、自ずと集まってくるのではないかと思います。LINE も Facebook も Instagram も紙もホームページもアプリもデジタルサイネージも全部必要だと思います。ここにいかないと情報が取れないというのは親切ではないなと思います。</p>
渥美会長	<p>インフラとしての Wi-Fi 環境という点と、SNS にも色々あり多角的な活用という点のご指摘を受けました。</p>
渥美会長	<p>それでは、&lt;案件(6)その他&gt;としまして、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>本日はご多忙の中、委員の皆様におかれましては、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議録につきましては、事務局で案を作成しましたら、委員の皆様にもメールで会議録の案をお送りさせていただきます。</p>

渥美会長	<p>ので、ご確認いただき、その結果を会長と調整した上で確定し、公表していきたいと思しますので、よろしくお願いたします。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ご不明な点がありましたら 2 月 26 日までに事務局にお伝えいただければと思います。</p> <p>それでは、これで生涯学習推進審議会を終了したいと思います。</p> <p>本日は、お疲れさまでした。</p>
------	--

